

ロボット戦略 世界分散ファンド

愛称:資産の番人

第12期運用報告書（全体版）

（決算日 2022年8月22日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信 託 期 間	2016年9月30日から2026年8月24日まで	
運 用 方 針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ルクセンブルク籍投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」が発行する外国投資信託証券「日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ日本円クラス（ヘッジ付）	先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時（2月と8月の22日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「ロボット戦略 世界分散ファンド」は、2022年8月22日に第12期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**
〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
<https://www.tdasset.co.jp/>

最近 5 期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	マン・ AHL・ アルファ・コア・ オルタナティブ・ 日本円クラス (ヘッジ付) 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
8 期 (2020年 8 月 24 日)	円 10,650	円 100	% △4.8	% —	% —	% 96.8	百万円 14,514
9 期 (2021年 2 月 22 日)	10,914	100	3.4	—	—	97.3	13,579
10期 (2021年 8 月 23 日)	10,995	100	1.7	—	—	95.7	11,133
11期 (2022年 2 月 22 日)	9,946	0	△9.5	—	—	95.2	9,180
12期 (2022年 8 月 22 日)	10,453	100	6.1	—	—	98.0	8,651

(注) 基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	マン・ AHL・ アルファ・コア・ オルタナティブ・ 日本円クラス (ヘッジ付) 組 入 比 率
		騰 落 率			
期首 (前期末) 2022年 2 月 22 日	円 9,946	% —	% —	% —	% 95.2
2 月末	9,705	△2.4	—	—	95.1
3 月末	10,180	2.4	—	—	96.4
4 月末	10,447	5.0	—	—	97.9
5 月末	10,597	6.5	—	—	96.7
6 月末	10,873	9.3	—	—	96.4
7 月末	10,539	6.0	—	—	96.7
期 末 2022年 8 月 22 日	10,553	6.1	—	—	98.0

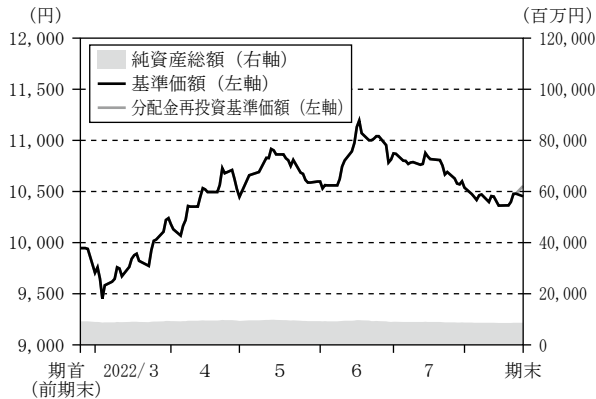
(注) 基準価額は 1 万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 基準価額等の推移



第12期首：9,946円

第12期末：10,453円（既払分配金100円）

騰落率：6.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2022年2月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」において、株式セクターがマイナスに寄与したものの、通貨と債券・金利セクターがプラスに寄与したことから、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）	6.8%
T&Dマネーアカウンタマザーファンド	0.0

■ 投資環境

【株式市場】

期初から2022年3月半ばには、欧米のインフレ加速や金融引締め観測から株価の上値が重いなか、ロシアのウクライナ侵攻や、これに対する欧米の対ロシア制裁による世界経済への影響が懸念され、リスク回避の動きから株価は下落しました。3月後半には、米国金融政策の不透明感が薄れたことや原油急騰一服による安心感から株価が回復しました。しかし、先行き不透明なウクライナ情勢への警戒感や都市封鎖による中国の景気減速懸念、米国の金融引締め加速観測に伴う金利上昇、さらには景気減速懸念の台頭などが重しとなり、4月から6月半ばにかけて株式市場は世界的に軟調な展開となりました。6月後半には、景気減速懸念から金利上昇ペースが鈍化し株価下落が一服、一方で中国の行動制限緩和や金融緩和などの景気刺激策からアジア株は堅調となりました。その後期末にかけては、良好な経済指標が見られるなか、資源価格の軟化もあり物価高騰懸念の後退などを背景に株価は堅調推移となりました。

【債券市場】

期初には、ウクライナ情勢の緊迫化に伴い景気先行き不安やリスク回避の動きから欧米長期金利は低下しました。2022年3月上旬以降、4月に世界的な株安や中国の景気減速懸念、5月にも急速な金融引締めによる景気後退懸念などから金利が低下する場面もありましたが、6月半ばにかけて欧米のインフレ加速が続くなか、ロシアのウクライナ侵攻を受けた資源価格高騰もあり、欧米各国が相次いで金融政策の中立化、さらにはインフレ抑制のため金融引締め政策へと転換したことから欧米金利は上昇基調が続きました。6月後半から7月末にかけては、FOMC（米連邦公開市場委員会）で0.75%、ECB（欧州中央銀行）は0.5%の利上げを行い、急速な金融引締めによる景気悪化への警戒感が高まるなか、欧米の経済指標に減速が見られ始め、また資源価格の軟化もあり、欧米の長期金利は低下しました。その後期末にかけては、先行き景気懸念は残るものの、金融当局者のタカ派的な発言も多く聞かれ、金融引締め政策を維持するとの観測がやや優勢ななか金利は上昇となりました。

【為替市場】

米ドルは、ロシアのウクライナ侵攻を受けてドル高の動きから始まりましたが、その後2022年3月末にかけて、米国の利上げ観測と地政学リスクが混在するなか横ばい推移となりました。4月には、米国の金融引締め積極化に伴う金利上昇加速から米ドル独歩高の展開となりました。5月に入り、利上げ加速観測が一巡し利益確定売り等により反落しましたが、6月から7月半ばには、米国景気減速への警戒感が強まる一方、米国の大幅利上げ観測や金融市場のリスク回避姿勢の高まりから、再び米ドル全面高となりました。7月後半以降は、経済指標は強弱混在し、原油価格の軟化や米国株の上値の重さなどから米ドル上昇は一服となりました。一方、ユーロは欧州の金融引締め政策への転換から一時的に強含むこともありましたが、先行き不透明なウクライナ情勢が重しとなり、期を通じて軟調な推移が続きました。円は、日銀の金融緩和と政策維持により他国との金融政策の方向性の違いが意識され、特に米国との金利差拡大が続いたことから大幅な円安となりました。資源国通貨や新興国通貨については、資源価格上昇局面では上昇しましたが、中国の都市封鎖等による中国景気減速懸念や早急な金融引締めによる景気後退が懸念された局面では下落する展開となりました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.08%から期末は△0.13%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウンタマザーファンド」を組入れました。

【マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）】

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を投資対象とし、システムチック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行いました。

【T & Dマネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、100円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T & Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

【マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）】

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を投資対象とし、システムチック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行います。

【T & Dマネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響により、持ち直しの動きに弱さがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2022年 2 月23日から2022年 8 月22日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2022/ 2 /23～2022/ 8 /22		
	金額	比率	
平均基準価額	10,390円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	52円 (22) (29) (2)	0.502% (0.207) (0.278) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	1 (1)	0.009 (0.009)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	53	0.511	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

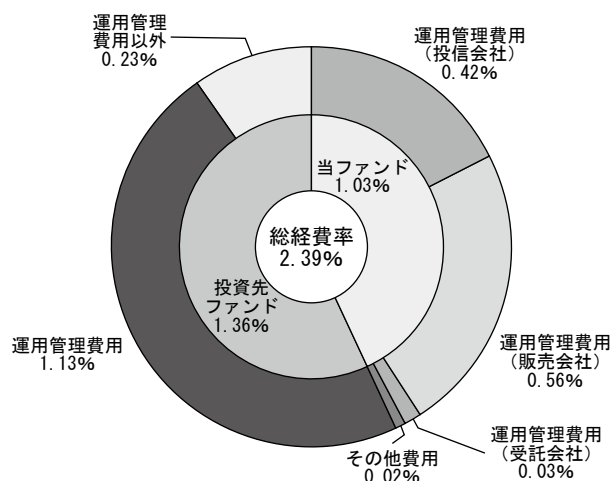
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.39%です。



総経費率 (①+②+③)	2.39%
①当ファンドの費用の比率	1.03%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.13%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ②の費用は、基本報酬と成功報酬で構成されています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2022年2月23日から2022年8月22日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	口 —	千円 —	口 73,038	千円 882,000

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2022年2月23日から2022年8月22日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2022年8月22日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	口 800,331	口 727,293	千円 8,474,772	% 98.0

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	
T & D マネーアカウントマザーファンド	千口 49	千口 49	千円 49	

(注) T & D マネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は99千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2022年 8 月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	8,474,772	96.4
T & D マネーアカウントマザーファンド	49	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	317,793	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	8,792,614	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年 8 月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,792,614,588円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	317,792,534
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付) (評 価 額)	8,474,772,158
T & D マネーアカウントマザーファンド(評価額)	49,896
(B) 負 債	141,354,307
未 払 収 益 分 配 金	82,766,263
未 払 解 約 金	11,715,323
未 払 信 託 報 酬	46,071,094
未 払 利 息	445
そ の 他 未 払 費 用	801,182
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	8,651,260,281
元 本	8,276,626,319
次 期 繰 越 損 益 金	374,633,962
(D) 受 益 権 総 口 数	8,276,626,319口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,453円

- (注) 期首元本額 9,229,642,637円
 期中追加設定元本額 326,243,538円
 期中一部解約元本額 1,279,259,856円
 (注) 1口当たり純資産額は1.0453円です。

損益の状況

当期 自2022年 2 月23日 至2022年 8 月22日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 78,670円
受 取 利 息	1
支 払 利 息	△ 78,671
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	528,380,477
売 買 益	620,342,181
売 買 損	△ 91,961,704
(C) 信 託 報 酬 等	△ 46,872,276
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	481,429,531
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△579,556,575
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	555,527,269
(配 当 等 相 当 額)	(605,571,176)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 50,043,907)
(G) 合 計 (D + E + F)	457,400,225
(H) 収 益 分 配 金	△ 82,766,263
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	374,633,962
追 加 信 託 差 損 益 金	555,527,269
(配 当 等 相 当 額)	(605,571,176)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 50,043,907)
分 配 準 備 積 立 金	205,133,701
繰 越 損 益 金	△386,027,008

- (注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、収益調整金 (605,571,176円) および分配準備積立金 (287,899,964円) より、分配対象収益は893,471,140円 (1万口当たり1,079円) であり、うち82,766,263円 (1万口当たり100円) を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2022年2月23日 ～2022年8月22日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.948
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	979

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T & D マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

マン・アンブレラ・SICAV－マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ルクセンブルク籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針	中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
投資態度	・先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を積極的に活用し、主として市場動向の方向性にそって多数の先物等についてロングポジションまたはショートポジションを構築することにより、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ・先進国および新興国における多くの市場を対象としたシステムチック運用により、市場の上昇および下落局面においても収益を追求します。 ・原則として、コモディティ市場への投資は行いません。 ・投資運用会社の判断によりレバレッジを活用します。 ・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	有価証券（先物等のデリバティブ取引は含みません。）の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 流動性にかける資産の組入れは10%以下とします。
決 算 日	毎年12月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。
管 理 会 社	ウェイトン マネジメントカンパニー（L u x）S．A
投資運用会社	AHL パートナース LLP

※次ページ以降の記載は、マン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手した「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」の監査済報告書および保有明細をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。当該記載は監査報告書の入手可能な直近の決算日現在のものです。

※「マン・アンブレラ・SICAV－マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」は、「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」が発行する円建外国投資信託証券です。

マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ

(1) 純資産変動計算書

計算期間：2021年1月1日から2021年12月31日

	(単位：米ドル)
期首の純資産額	206,764,530.88
収益	
債券利息	48,099.06
銀行利息	86,478.08
その他収益	515.89
収益合計	135,093.03
費用	
運用報酬	2,009,262.02
管理会社費用	42,746.76
成功報酬	185,081.30
受託銀行手数料	72,211.53
登録、事務代行、名義書換事務費用	181,582.47
監査費用、印刷および発行費用	65,030.66
年次税	29,508.54
銀行利息	82,652.04
取引手数料	110,417.25
その他費用	107,994.59
費用合計	2,886,487.16
投資に係る純損益	(2,751,394.13)
有価証券売却に係る実現純損益	4.50
外国為替先渡取引に係る実現純損益	(22,158,725.67)
先物取引に係る実現純損益	1,934,706.91
外国為替取引に係る実現純損益	(485,813.11)
実現純損益	(20,709,827.37)
未実現損益の変動：	
－有価証券投資	(15,236.96)
－外国為替先渡取引	(6,496,756.86)
－先物取引	(885,356.24)
運用の結果による純資産の増減額	(30,858,571.56)
資本変動額	
追加設定金額	59,702,729.90
一部解約金額	(47,351,390.45)
当期末の純資産額	188,257,298.77

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(注) 「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」における「日本円クラス（ヘッジ付）」の決算期末の持分比率は46.5%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2021年12月31日

(A) 債券

銘柄名	数量	通貨	簿価	評価額
			米ドル	米ドル
United States Treasury Bill 0.00% 24/Feb/2022	10,000,000	USD	9,997,739.58	9,999,634.00
United States Treasury Bill 0.00% 27/Jan/2022	15,000,000	USD	14,996,532.08	14,999,797.50
United States Treasury Bill 0.00% 3/Mar/2022	10,000,000	USD	9,997,788.19	9,999,252.00
United States Treasury Bill 0.00% 10/Mar/2022	7,000,000	USD	6,998,655.90	6,999,479.90
United States Treasury Bill 0.00% 28/Apr/2022	10,000,000	USD	9,997,059.03	9,997,813.00
United States Treasury Bill 0.00% 12/May/2022	10,000,000	USD	9,997,569.44	9,997,092.00
合計			61,985,344.22	61,993,068.40

(B) 為替先渡取引（上位10銘柄）

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
USD	JPY	110,621,032.39	759,897.37
USD	EUR	68,756,889.59	2,810.38
USD	AUD	61,040,473.64	(613,964.90)
USD	KRW	60,378,429.45	183,212.50
MXN	USD	51,303,113.77	704,441.80
JPY	USD	50,915,622.52	(437,728.69)
USD	GBP	48,609,462.55	(367,644.85)
GBP	USD	45,384,856.04	725,340.80
USD	MXN	44,909,626.72	(1,100,799.71)
INR	USD	42,539,304.66	232,764.47

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(C) 先物取引（上位10銘柄）

買い			
銘柄名	通貨	評価額	評価損益
		米ドル	米ドル
10 Year Japanese Bond	JPY	24,564,289.32	(96,595.61)
S&P 200 Future	AUD	17,627,402.81	158,660.47
Refinitiv Taiwan Banking Services Index Future	USD	13,341,120.00	127,749.20
MSCI Taiwan Index Future	TWD	11,583,371.43	300,284.35
Swiss Market Index Future	CHF	11,236,788.67	238,616.79
U.S. Dollar Index Future	USD	10,037,265.00	(63,431.00)
FTSE 100 Index Future	GBP	9,027,193.29	116,809.74
S&P 60 Future	CAD	7,503,992.01	80,039.52
10 Year Government of Canada Bond Future	CAD	7,226,130.88	13,597.37
US Treasury Bond Future	USD	7,043,656.25	(95,437.50)
売り			
銘柄名	通貨	評価額	評価損益
		米ドル	米ドル
3 Month Euribor	EUR	26,396,253.83	10,972.30
US SOFR Index Future	USD	25,769,187.50	14,250.00
Buoni Poliennali Del Tesoro Bond Future	EUR	17,551,006.25	42,534.36
UK Treasury Bond Future	GBP	13,227,061.37	(14,821.37)
Euro-OAT Future	EUR	10,946,514.08	40,359.83
Euro-Bund Future	EUR	9,549,214.02	31,194.90
10 Year US Treasury Note Future	USD	6,732,875.00	(10,744.74)
Hang Seng China Enterprises Index	HKD	5,354,894.08	(38,601.75)
Hang Seng Index Future	HKD	4,812,745.74	(36,554.81)
Bank Acceptance Future	CAD	3,494,085.02	(751.01)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第 9 期（決算日 2021年 9 月10日） （計算期間 2020年 9 月11日から2021年 9 月10日）

「T & D マネーアカウントマザーファンド」は、2021年 9 月10日に第 9 期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	信託期間は原則無期限です。
運 用 方 針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。

最近 5 期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落 中 率			
5 期（2017年 9 月11日）	円 10,012	% △0.0	% —	% —	百万円 4
6 期（2018年 9 月10日）	10,006	△0.1	—	—	2
7 期（2019年 9 月10日）	10,000	△0.1	—	—	2
8 期（2020年 9 月10日）	9,995	△0.1	—	—	0.19858
9 期（2021年 9 月10日）	9,995	0.0	—	—	0.099834

（注）基準価額は 1 万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

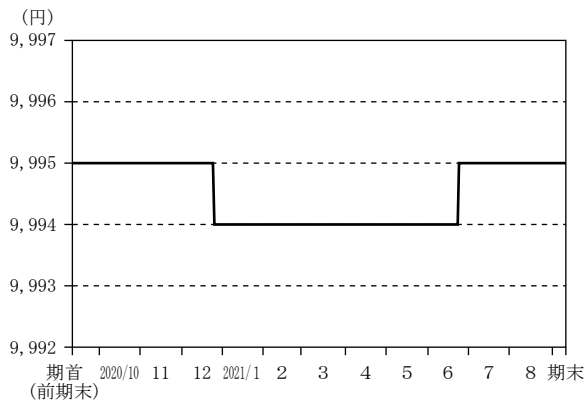
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
期首（前期末） 2020年 9 月10日	円 9,995	% —	% —
9 月末	9,995	0.0	—
10月末	9,995	0.0	—
11月末	9,995	0.0	—
12月末	9,994	△0.0	—
2021年 1 月末	9,994	△0.0	—
2 月末	9,994	△0.0	—
3 月末	9,994	△0.0	—
4 月末	9,994	△0.0	—
5 月末	9,994	△0.0	—
6 月末	9,995	0.0	—
7 月末	9,995	0.0	—
8 月末	9,995	0.0	—
期 末 2021年 9 月10日	9,995	0.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,995円からスタートし、期末も9,995円となりました。運用対象であるコールローンのマイナス利回りが下落要因となった一方、取引タイミング等が上昇要因となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.14%から期末は△0.12%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%となりました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの流行などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細（2020年9月11日から2021年9月10日まで）

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況（2020年9月11日から2021年9月10日まで）

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等（2020年9月11日から2021年9月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年9月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2021年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	99	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	99	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	99,834円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	99,834
(B) 純 資 産 総 額 (A)	99,834
元 本	99,887
次 期 繰 越 損 益 金	△ 53
(C) 受 益 権 総 口 数	99,887口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (B / C)	9,995円

(注) 期首元本額 198,686円
 期中追加設定元本額 180,092円
 期中一部解約元本額 278,891円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は53円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9995円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 ロボット戦略 世界分散ファンド 49,921円
 ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド 49,966円

損益の状況

当期 自2020年9月11日 至2021年9月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 6円
支 払 利 息	△ 6
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 6
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	△106
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 92
(E) 解 約 差 損 益 金	151
(F) 合 計 (B + C + D + E)	△ 53
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△ 53

(注) 損益の状況の中で

(D) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(E) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。